

参考資料 2 燃料費調整制度の概要

この制度は、電気料金を構成している費用のうち、燃料費について、その時々原油および石炭価格ならびに為替レートの変動に応じて、電気料金の織込諸元をもとに設定した基準燃料価格からの乖離分を自動的に加減算することにより、料金を調整するものです。

本制度は、燃料価格の変動をできる限り迅速に反映させることを目的として、平成 8 年 1 月から導入しており、その計算手順および計算例は以下のとおりです。

なお、新料金下での燃料費調整は、平成 17 年 6 月の検針日以降に使用される電気に適用するものとし、平成 17 年 6 月の検針日の前日までに使用される電気には適用いたしません。

平均燃料価格の算定 …… 通関統計の原油および石炭価格をもとに、「平均燃料価格」を算定いたします。

$$\text{平均燃料価格}^{*1} = \text{原油価格} \times 0.3659^{*2} + \text{石炭価格} \times 0.9106^{*3}$$

- (注) 1. 平均燃料価格 …… 100 円単位とし、100 円未満の端数は四捨五入
 2. 0.3659 …… 原価算定期間の化石燃料に占める原油の熱量構成比
 3. 0.9106 …… “ 石炭の原油換算熱量構成比

燃料費調整単価の算定 …… 基準となる基準燃料価格 (15,100 円/kl) に対する平均燃料価格の変動幅に、基準単価を乗じて「燃料費調整単価」を算定いたします。

$$\text{燃料費調整単価}^{*1} = (\text{平均燃料価格} - \text{基準燃料価格}) \times \frac{\text{基準単価}^{*2}}{1,000 \text{ 円/kl}}$$

- (注) 1. 燃料費調整単価 …… 銭単位とし、小数点第 1 位で四捨五入
 2. 基準単価 …… 11 銭 3 厘/kWh (消費税等相当額込み 11.865 銭/kWh)

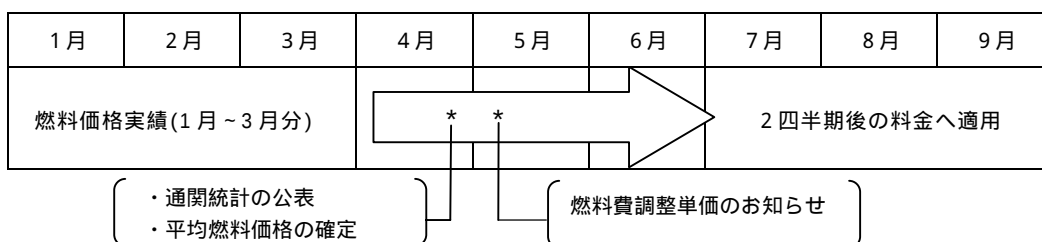
燃料費調整額の算定 …… お客さまごとの毎月の燃料費調整額は、「燃料費調整単価」にお客さまの使用電力量を乗じて算定いたします。

$$\text{燃料費調整額} = \text{燃料費調整単価} \times \text{お客さまごとの使用電力量}$$

- 最低料金および定額制のお客さまについても、これに準じて料金の調整をいたします。

- 燃料費調整単価は、四半期 (3 カ月) ごとに見直します。
- 基準燃料価格 (15,100 円/kl) に対し平均燃料価格の差が小さい場合 (14,400 円/kl 以上 15,800 円/kl 以下)、調整を行いません。また、平均燃料価格が高騰し、22,700 円/kl (基準燃料価格の 1.5 倍) を上回る場合、22,700 円/kl と同じ燃料費調整単価とします。

(平均燃料価格の決定時期および適用時期の例)



燃料費調整額の計算例

- {

 - ・ 従量電灯 A , 月使用電力量 300kWh
 - ・ 平均燃料価格が 16,100 円 / kl となった場合

}

燃料費調整前の料金 (消費税等相当額を除く)		6,207 円 92 銭 … (1)	-
燃料費調整額	最低料金 (最初の11kWhまで)	$\frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準燃料価格}}{1,000\text{円/kl}} \times \frac{1\text{円}24\text{銭}3\text{厘}}{1,000\text{円/kl}} = 1\text{円}24\text{銭}$ … (2)	〔燃料費調整単価〕 銭未満四捨五入
	電力量料金	$\frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準燃料価格}}{1,000\text{円/kl}} \times \frac{11\text{銭}3\text{厘}}{1,000\text{円/kl}} = 11\text{銭/kWh}$	〔燃料費調整単価〕 銭未満四捨五入
		11 銭 / kWh × (300kWh - 11kWh) = 31 円 79 銭 … (3)	-
	小 計	(2) + (3) = 33 円 03 銭 … (4)	-
燃料費調整後の料金		(1) + (4) = 6,240 円 … (5)	円未満切捨
消費税等相当額		(5) × 5% = 312 円 … (6)	〃
お支払い金額		(5) + (6) = 6,552 円	-

以 上